

フランス大統領選挙～投票の流れ～



今日はフランス式投票の流れを簡単にご紹介したいと思います。

私はフランスに住んでいても変わらず日本国籍なので、残念ながら選挙で清き一票を投じることはできません。ただ前回2007年の大統領選挙の際、主人に付き添って、投票所に足を踏み入れ見学することはできましたので、そのときの様子をお伝えします。（投票の方法が変わっていないことを願いつつ...）

「投票権」は申請する

選挙の当日、善良な市民は最寄りの投票所へ赴きます。このときに提示しなければいけないものがLa carte électorale。「選挙カード」とでも言いましょうか、これが必要なのです。

フランス国籍を持っていれば誰でも投票できるわけではなく、自分が住んでいる市町村の役所へ行ってこのカードを申請して取得した人のみに「投票権」があるのです。

役所ではこの選挙カードの申請に基づき、「投票者リスト」にカード保持者の名前を登録します

。

当日の流れは

選挙当日は投票所にこのリストが置いてありますので、選挙カードを提示して自分の名前をリストで確認します。名前の確認が済んだらよいよ投票ブースへ進みます！

複数あるブースの前にはたいてい大きな机が置いてあり、候補者の名前が印刷されたカードが大量に並べてあります。原則として投票者は候補者全員分のカード+封筒一枚を手にはブースの中へ入ります。

沢山あるカードの中から、投票したい候補者の名前が書かれた紙一枚だけを選び、封筒の中に入れて残りのカードはゴミ箱に捨てます。その封筒を投票箱の中に入れて、完了です！

まあ実際は候補者全員分のカードを取る人はおらず、上位3～5人分だけ持って行く人がほとんどですね。なのでカードの減り具合が候補者によってバラバラ...何はともあれ、名前が印刷されたカードを封筒に入れるという投票形式は、シンプルかつクリアでいいと思います。自分で候補者の名前を書いたり印をつけるという場合、スペルミスがあったり候補者のあだ名を書く人がいたり、変な印を入れたり...無効な投票が増えてしまいますよね。

あとがき

捨てられるカードのことを思うと、紙の無駄遣い...と指摘したくもなるのですが、コピー用紙のようなぺらぺらの紙だったので、目をつむるとしましょう。今年の投票日も主人に付き添うと思いますので、もし大きな変更があったらお知らせしますね。

執筆 Miwa

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。

いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

